

令和3年3月31日

研究開発完了報告書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 島根県松江市殿町1番地  
管理機関名 島根県教育委員会  
代表者名 教育長 新田英夫

令和2年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発完了報告書を、  
下記により提出します。

記

1 事業の実施期間

令和2年4月10日(契約締結日)～令和3年3月31日

2 指定校名・類型

学校名 島根県立松江東高等学校  
学校長名 野々村 卓  
類型 地域魅力化型

3 研究開発名 「中核市発 持続可能な社会を創造する「地域共創人」の育成」

4 研究開発概要

「主体的学習者としての力」、「探究的学習力」、「社会的自立力(キャリア形成力)」、「地域共創力(価値創造力)」、「多文化協働力」を伸ばして Society5.0 を地域から分厚く支える人材である「地域共創人」の育成には、確かな学力に加え、さらなる経験、さらなる探究心、さらなる創造力が必要であり、そのために次の6つの研究開発を行う。

- |   |
|---|
| I 「地域共創人」を育成する3年間の体系的なカリキュラム研究(地域共創人育成 Project) |
| II 文理融合型の教育を目指す3年次からの「地域共創コース」のカリキュラム研究         |
| III 県指定で2年間実施した教育課程実践モデル事業の継承による主体的学習者育成研究      |
| IV 教育を核とした多文化協働・地域共創研究                          |
| V 持続可能な学校魅力化事業研究                                |
| VI 単位制普通高校移行や新学習指導要領の内容を見据えた学校の魅力化研究            |

5 学校設定教科・科目の開設, 教育課程の特例の活用の有無

- |             |         |   |          |
|-------------|---------|---|----------|
| ・学校設定教科・科目  | ○開設している | ・ | 開設していない  |
| ・教育課程の特例の活用 | 活用している  | ・ | ○活用していない |



③先導モデル研修会				1回				1回			1回	
④人づくり推進事業	→											
⑤高校魅力化評価システム研修会							1回	1回				
⑥高大連携調整会議												1回

## (2) 実績の説明

### ①コンソーシアムへの伴走

コンソーシアムを支援する県のスタッフを「伴走者」として配置し、コンソーシアムの設置や運営にあたる県側の窓口となり、県の有する権限・予算・施策や人的リソースの活用が有効である場合は、担当部署等につなぎ、課題の解決のための支援を行った。

②「高校魅力化コンソーシアム先導モデル創出事業」として「高校魅力化コンソーシアムマネージャー」を松江東高校に配置し、コンソーシアムの運營業務支援や関係者へのヒアリングを行うなど、コンソーシアムの活動がより活性化するための支援を行った。また来年度は地元大学との連携を通じた人材育成をさらに進めていくよう「高大連携推進員」を配置する。あわせて、高校魅力化の全般業務を担う「主幹教諭」を配置し、高校魅力化の取組増強を図っていく。

③「高校魅力化コンソーシアム先導モデル創出事業」として県内全県立高校を対象とした研修会を開催し、先導モデル校の取組を紹介し、県内全域に普及させるために取り組んだ。

### ④教育魅力化人づくり推進事業の実施

島根県事業として、高校と地域社会が連携協働して取り組む活動やそのために必要となる体制整備に必要な経費等について支援した。

### ⑤高校魅力化評価システム

教育の魅力化に取り組む学校・地域の状況についてアンケートを用いて定量的に把握するシステムの構築を進め、生徒と地域へのアンケートを実施し、検証シートを作成した。また、県内各校の担当者を集めた研修会及び各高校が開催する研修会において講師を務めた。

### ⑥島根大学と島根県教育委員会との高大連携に関する協定によるパイロットモデル校

島根大学、県教委及び松江東高校間で対話の場を確保することで、相互理解が進み、信頼関係の構築につながるとともに、多様な視点から課題解決を図る機運が醸成されるよう支援した。

## 10 研究開発の実績

### (1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①「総合的な探究の時間(1年生)」における探究学習				2回		2回	4回	3回	2回	3回	2回	4回
②「総合的な探究の時間(2年生)」における探究学習	1回			2回	1回	3回	4回	4回	3回	1回	1回	3回
③学校設定科目「データサイエンス」における探究学習			4回	3回	1回	4回	4回	2回	3回	3回	2回	2回

④学校設定科目「プログラミング基礎」の研究			1回				1回	1回				
⑤学校設定科目「EAST 地域探究」の研究			1回	1回		1回	1回		1回		1回	
⑥「主体的・対話的で深い学び」の研究							3回				1回	2回
⑦学校設定科目「EAST 国際交流基礎」における探究学習及び「EAST 国際交流」の研究			4回	3回	1回	4回	4回	2回	3回	3回	2回	2回
⑧ESS や JRC 等による地域ボランティア						1回	4回	4回	5回		1回	3回
⑨東高カフェ WG の仕組み研究・実施			1回			2回			1回		1回	1回
⑩単位制、新学習指導要領のカリキュラム研究	2回	2回	4回	3回	1回	4回	3回	3回	3回	3回	3回	2回

## (2) 実績の説明

### ①「総合的な探究の時間（1年生）」における探究学習

必要な情報を集め、チームとして協働できるようになるための素地を整えた後、「with コロナの社会における課題を探究する」というテーマをとおして、探究学習に必要なスキルの習得を行った。3月には松江市の担当課、旅行会社計16名の方々を招いてポスターセッションを行った。

### ②「総合的な探究の時間（2年生）」における探究学習

1年生と同様に協働のための素地を整えた後、市内企業・公民館等計32団体から課題を提供してもらい、その課題と解決策について探究し、実践・検証を行った。12月には校外で外部の方を招いてポスターセッション及び代表班によるステージ発表、講演会を開催した。

### ③学校設定科目「データサイエンス」

今年度から2年生の選択科目として開講した。データ処理や統計学の基礎について学び、地域経済分析システム「RESAS」を利用してデータを基づいた意見提示をする活動を行った後、生徒一人一人が関心のあるテーマについてデータを用いた分析を行った。

### ④学校設定科目「EAST プログラミング基礎」では、島根県教委主催「共通教科情報『情報I』講座」を受講した。小・中学校でのプログラミング教育からのつながり、そして必修教科目「情報I」におけるプログラミングとの連携をいかに図るかを研究した。

### ⑤学校設定科目「EAST 地域探究」の研究

島根県教委が実施する探究学習推進担当者研修にオンラインで参加し、探究学習の質の向上を図るため他地域の実践や専門家からカリキュラムマネジメント、年間計画・授業の設計等について学び、研究した。

### ⑥「主体的・対話的で深い学び」にかかる研究

研究授業を兼ねた教員研修を6回実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響により先進校視察等は行えなかった。

### ⑦学校設定科目「EAST 国際交流基礎」における探究学習及び「EAST 国際交流」の研究

今年度から2年生の選択科目として開講した。島根大学の留学生を招いて相互の国や文化について伝え合い、交流を行った。その後、ディベートを行った。「EAST 国際交流」の内容を見据え、松江市の国際交流員との交流も行った。

### ⑧ESS や JRC 等による地域ボランティア

JRC 部が図書委員会と共に学園祭で義援金を募り、日本赤十字島根県支部へ「令和2年7月

島根県豪雨災害義援金」を送った。また、JRC 部が日本赤十字社の「キモチと。」プログラムに2回協力した。また、川津幼稚園への訪問活動を10月～12月にかけて計12回実施した。3月には川津地区公民館より依頼のあった朝酌川護岸の大規模清掃活動に50名を超える生徒が参加した。

⑨東高カフェ WG の仕組み研究・実施

「東高カフェ WG」のプレを2回行い、役員会において正式に設立が承認された。12月には校外の施設を借りて、生徒8名が民間企業の社員にキャリア形成について相談した。その後2月、3月にも実施し、プレも含め計6回実施できた。

⑩単位制、新学習指導要領のカリキュラム研究

単位制カリキュラム及び新学習指導要領に応じた教育課程について、校内の教科主任会において引き続き研究を行っている。

1 1 目標の進捗状況，成果，評価

<添付資料>目標設定シート

1 2 次年度以降の課題及び改善点

- ・地域との協働による探究的な学びを進めていく上で、学習者である生徒自身が自分事として主体的に取り組み、学ぶ意欲の向上と発展につながる仕組みを引き続き検討していく必要がある。
- ・教員においても地域と協働した探究的な学びの必要性が概ね認識されてきた。今後、教員がより意欲的に取り組むよう、研修の機会を設けるなど考えていきたい。
- ・探究的な学習方法を教科指導に取り入れることは進んでいるが、各教科の知識・技能を探究学習に取り入れる部分については課題が残る。教科横断的な学びや総合的な探究の時間と各教科との連携をさらに深化していく必要がある。

【担当者】

担当課	島根県教育庁教育指導課	TEL	0852-22-6428
氏名	名目良 明利	FAX	0852-22-6026
職名	社会教育主事	e-mail	namera-akitoshi@edu.pref.shimane.jp